



世界ミツバチの日

5月20日



養蜂が盛んなスロベニアにおいて近代養蜂の先駆者であるアントン・ヤンジャの誕生日に由来する国際デーです。ミツバチだけに限らず、花粉を媒介する動物たちの重要性を認識するための日となっています。彼らは、花から花に花粉を運ぶことにより、農作物を含む植物を受粉させ、地球上の生命を維持しています。一方的に忌み嫌うことはせず、自分を含めた生態系を意識しながら暮らしていきたいですね。



5月1日

スズラン

幸せが再び訪れる

強健で寒さにも強い多年草(ドイツスズラン)毒を含むので注意。

5月19日

サツキツツジ

節制

5~6月に開花。強健な常緑低木ですが、通気性を好み、地表近くに細い根を張るため、水切れに弱い性質です。夏場の灌水は欠かさないように。



5月22日

レモン

香気・心から誰かを恋しく思う

耐寒性には劣るので、育てるのであれば、庭植えにせず鉢植えで。日当たりの良いところで育てましょう。



May flower

5月の花

Birthday flower

5月のモデル (2021年5月)



株式会社中曽根造園

どの植物の
名前でしょおーか？



おかしな名前クイズ！

もってのほか

「もってのほか」美味しい。
煮崩れしにくく、苦みも少ないのが特徴です。

ぺんぺん草

若芽は七草かゆに入ることでも有名。
回すとぺんぺんと音がします。

ままこのしりめぐい

茎や葉には棘あり。憎い継子の尻をこの草で拭くという想像から命名されたとか。怖い。

おおもうかい(亜阿相界)

原産国がアジア(亜細亜)とアフリカ(アフリカ)の境目であることから



葉のはなし

常緑樹と落葉樹の葉っぱには、大きな違いがあります。
その理由は何なのでしょう。

左はヤマボウシの葉、右はツバキの葉です。
見比べて、気づくことはありますか？



常緑樹には艶(つや)がある・厚みがある

葉の表面にはクチクラというロウ状の物質で出来た表皮層があります。

水の蒸散防止、汚染物質や病虫害の侵入防止等の効果があるのですが、それに加えて、凍結も防いでいます。

冬でも葉を付けたままの常緑樹は、この表皮層が発達しているのです。

落葉樹は冬の寒さに耐えることを諦め、葉を落として休眠することを選択しました。

ですから、常緑樹に比較して葉が柔らかいのです。

